

授業科目	物理学		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 患者の移動では「力のモーメント」、点滴では「圧力」、超音波診断では「波」というように、看護の現場では多くの物理的な現象を利用している。</p> <p>これら看護において必要な物理的基礎知識を、実験を通して習得する。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ~ 15		物理量と単位	1. [講義] SI単位系、大きさのオーダー 2. [講義] 実験レポートの書き方、有効数字の計算方法
		コインの体積と密度	1. [講義と実験] 1円、5円、10円玉の体積と密度（ノギスの使い方）
		力のつりあい	1. [講義と実験] 2つの力、3つの力のつりあいを測定
		力のモーメント	1. [講義と実験] 力のモーメントの測定
		水の圧力と浮力	1. [講義と実験] 浮力を測定し、アルミと石の密度、比重を求める
		サイフォンと水の粘性	1. [講義と実験] 大気や水の圧力 2. [講義と実験] 水の圧力を利用し、水の粘性を測定
		仕事による発熱	1. [講義と実験] 鉛の発熱量の予備測定 2. [講義と実験] 鉛の発熱量の測定 3. [講義と実験] 発熱量と仕事の測定から、熱の仕事当量を求める
		光の反射と屈折	1. [講義と実験] レンズの焦点距離の測定
		電気（オームの法則）	1. [講義と実験] テスターを使い、電池の電圧、コンセンタの電圧、自身の抵抗を測定 2. [講義と実験] 直列接続、並列接続での抵抗を測定し、オームの法則を求める
		発光ダイオード	1. [講義] 発光ダイオード
3. 教科書	系統看護学講座 基礎分野 物理学 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	9課題のレポートの平均で評価します。		
6. 講師からのメッセージ	実験データの記録のためにノートを、実験報告のためにA4版のレポート用紙とグラフ用紙を準備してください。		
7. 先輩学生からのメッセージ	授業は実験が中心で、毎週レポート提出があります。積極的な意見交換とチームワークで取り組めば大丈夫です。グループで助け合いながらがんばりましょう。		

授業科目	文章表現法		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	1学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 文章を読み解く力を高める方法を身につける。</p> <p>2. 簡潔で要点を押さえた文章を書くために必要なことがらを学ぶ。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	ガイダンス	文章表現のツール（原稿用紙、国語辞典）
2	2	基礎技術①	速読の技法
3	2	基礎技術②	要約の技法
4	2	文章の読解①	（テーマ①）障害の定義
5	2	文章の要約①	
6	2	文章の読解②	（テーマ②）私と他者
7	2	文章の要約②	
8	1	試験	認定試験
3. 教科書		適宜プリントを配付する。	
4. 参考書		とくに参考になるものについて、授業中に提示する。	
5. 成績評価方法		提出物および筆記試験により評価する。	
6. 講師からのメッセージ		<p>グループワークを行います。</p> <p>国語辞典を使うと、より力が身に付きます。</p> <p>（電子辞書でも、高校時代に使っていたものでも良い）</p>	
7. 先輩学生からのメッセージ		この講義では、文章を要約する技術がたくさん学べます。認定試験でもその力を活用するため、積極的に技術の習得に取り組みましょう。	

授業科目	情報科学		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 将来看護師として必要となるさまざまな問題解決にコンピュータやソフトウェアといった情報手段を活用していくための、基礎的技能を身につける。</p> <p>2. 情報社会を自他とともに安全に生きていくための態度を身につける。</p> <p>3. 簡単な推測統計を用い、情報を分析・検討して報告書が書ける。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 15		コンピュータの仕組みとWindowsの使い方	1. ハードウェアやソフトウェアの仕組み 2. Windowsでのファイルやフォルダの作成・複写・移動・削除など、各種操作
		日本語ワープロの活用	1. MSワードを使った文字入力・編集・表の作成・図形の作成挿入と報告書の書き方
		インターネットの活用	1. 情報社会の特徴、インターネットの光と影、個人情報保護、情報モラル、著作権 2. 情報検索エンジン、電子メールの利用法 3. 情報セキュリティー
		表計算ソフトの活用	1. エクセルの基本操作、関数の利用、記述統計
		統計の基礎	1. 推測統計の基本事項 2. エクセルによる簡単な統計的検定
		統計の応用	1. アンケート処理を題材とした、推測統計の総合課題 2. エクセル、ワードを統合的に使った報告書の作成
		プレゼンテーション	1. プレゼンテーションの基本 2. パワーポイントの使い方
		プレゼンテーション発表会	1. 各自がパワーポイントを使用して、約5分のプレゼン発表をする。
3. 教科書	Office 2021 で学ぶコンピュータリテラシー 実教出版 システム看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	毎回の宿題レポートと、最終課題により評価します。		
6. 講師からのメッセージ	授業には各自USBメモリを準備してください。		
7. 先輩学生からのメッセージ	内容は難しいですが、講義を集中して聞き、配布資料を活用すると理解できます。課題が出るので、授業をよく聞くようにしましょう。		

授業科目	文 学		
単位・時間数	1 単位 15 時間	開講時期	1 学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
<p>明治以降、多くの日本人が訪れ深い関わりを持った中国・上海を、近代の日本人作家等はどのように作品内に描いたのか。当時の写真や地図等の参考資料を用いながら丁寧に読み進め、理解を深めたい。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 8			<p>1. 日本近代文学と中国 概説</p> <p>2. 谷崎潤一郎の中国体験と物語</p> <p>3. 芥川龍之介の描いた中国</p> <p>4. 上海 林京子の故郷と異郷</p> <p>5. まとめとレポート提出に関する説明</p>
3. 教科書	なし（プリント配布予定）		
4. 参考書	なし		
5. 成績評価方法	レポートにより評価します。		
6. 講師からのメッセージ	授業終了後、授業の感想やコメントを提出してもらいます。		
7. 先輩学生からのメッセージ	中国の文学について学べます。レポートは、中国に関することなので授業をよく聞いて興味のあることをみつけて調べるとよいと思います。		

授業科目	看護倫理		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 人間を広い視野から理解するために哲学や倫理学から看護について考える。</p> <p>2. よい看護、よい看護師への道しるべとしての看護倫理の基礎知識を習得する。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 15		看護倫理についての基礎知識	<p>1. 倫理の基礎</p> <p>2. 看護倫理の基礎</p> <p>3. 看護倫理の歴史的推移</p>
		看護倫理のアプローチ	<p>1. 徳の倫理</p> <p>2. 原則の倫理</p> <p>3. ケアの倫理</p>
		看護倫理に関する重要な言葉	<p>1. 和</p> <p>2. 思いやりの心</p> <p>3. 患者の尊厳</p>
		看護職の責任	<p>1. 倫理的責任と法的責任</p> <p>2. インフォームド・コンセント</p> <p>3. 情報プライバシーと守秘義務</p>
		看護活動と倫理	<p>1. 終末期医療</p> <p>2. 地域看護と倫理</p> <p>3. 異文化間の看護と倫理</p>
		社会的要配慮者の看護倫理	<p>1. 認知症</p> <p>2. 難病</p> <p>3. 家庭内で起こる虐待</p>
		看護研究における倫理	<p>1. 看護と研究</p> <p>2. 看護研究における倫理的配慮</p>
3. 教科書	看護倫理 南江堂		
4. 参考書	<p>臨床で直面する倫理的諸問題 日本看護協会出版会</p> <p>学生のための患者さんの声に学ぶ看護倫理 日本看護協会出版会</p> <p>ケアの質を高める看護倫理 医歯薬出版</p>		
5. 成績評価方法	<p>普段の授業態度、グループでの研究発表、各自の課題研究（レポート）を総合的に判断し評価します。</p>		
6. 講師からのメッセージ	<p>将来、看護師を目指す人は、看護倫理等の基礎知識の習得も大切であるが、それ以上に人間への深い理解と強い関心を持って学んでください。</p>		
7. 先輩学生からのメッセージ	<p>教科書にある事例をもとに、自分の考えを深めていけるようがんばりましょう。</p>		

授業科目	心理学		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 「こころの科学」としての心理学にふれる。多岐にわたる心理学分野を学びながら、医療現場に活かすヒントをさがす。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 15			1. 心理学とは 2. 知覚と認知 3. 欲求と感情 4. 学習・思考・記憶 5. 発達と教育 6. 性格と異常心理 7. 対人心理と社会心理 8. 脳と生理心理学 9. 臨床心理と心理療法 10. カウンセリング理論と技法 11. 認定試験
3. 教科書	図説 心理学入門 第2版 誠信書房		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	最終テスト・授業態度・レポートなどにより総合評価します。		
6. 講師からのメッセージ	心理学は、人を知り、自分を知るための、ひとつの道具となることでしょう。講義を通じて豊かな「人間観」をはぐくんでほしいと思います。		
7. 先輩学生からのメッセージ	興味深い授業内容で、関心をもって楽しく学習できます。(昨年度の)認定試験は、資料を参照しながら臨むことができたので、比較的余裕がもてました。		

授業科目	家族論		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 少子・高齢化が進む中、看護者がどのように患者およびその家族をサポートすることができるのかについて理解を深める。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ~ 15		家族の基本概念  夫婦関係論  親子関係論  家族と社会  患者家族と在宅ケア  家族支援のアプローチ  まとめ 認定試験	1. 家族とは何だろう 2. 家族の変貌  1. 配偶者選択・親密と性愛の心理 2. ジェンダー論  1. 子育ての史的展望 2. 母性論・父性論  1. 多様化する家族・地域とのつながり 2. 少子高齢化  1. 患者家族の臨床心理 2. 家族のストレスマネジメント  1. 家族システム論 2. ライフタスク 3. 家族への心理的教育法 4. 家族への心理的援助の方法
3. 教科書	系統看護学講座 基礎分野 家族看護学 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	最終テスト・授業態度・ミニテストにより評価します。		
6. 講師からのメッセージ			
7. 先輩学生からのメッセージ	家族についてひとりひとり捉え方の違いを考慮することができる授業です。人間関係について大事なことを学ぶことができます。		

授業科目	英語会話 I		
単位・時間数	2 単位 4 5 時間	開講時期	1 学年 全期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 現代英語を理解できることを目的とします。</p> <p>2. 使用するテキストは、イギリスのさまざまな文化を理解するためのエッセイを中心とした総合教材です。過去と現在における、日本文化とイギリス文化の相違点を理解する構成となっています。</p> <p>3. 看護のための英語会話を修得する。</p> <p>4. DVD及びCDによる会話とリスニングの能力を修得する。</p> <p>5. リスニングの小テストを10回施行する。</p> <p>6. 毎週授業の最初に、5分ぐらい、世界の英字新聞（The New York Times, The Gurdian, The Japan Times等）から、最新のニュースの見出しを取り上げ、日本から見た世界、世界から見た日本を紹介します。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 23	2  2 2 2 2 2 2 1  2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		<p>【旧カリキュラム英語 I】</p> <p>Chapter 1 : Animals : Fictional and Real イギリスから世界的に有名になった動物について。 文化の理解、リーディングと訳、ヒアリングと英作に重点を置く</p> <p>Chapter 2 : Exporting Sport</p> <p>Chapter 3 : Eating Habits : Changing Tastes</p> <p>Chapter 4 : Chapter 6 : Population : Food for Thought</p> <p>Chapter 5 : Antiques : Older Is Often Better</p> <p>Chapter 6 : Edinburgh: A City of Festivals</p> <p>Chapter 7 : Leisure: Indoor and Outdoor</p> <p>Chapter 8 : 試験</p> <p>【看護のための英語会話】</p> <p>Unit 1 : Greetings</p> <p>Unit 2 : Giving Explanations</p> <p>Unit 3 : Tests(X-ray)</p> <p>Unit 4 : Inviting the Patient to Talk, and Listening</p> <p>Unit 5 : Nursing Care and Asking Permission</p> <p>Unit 6 : Injection</p> <p>Unit 7 : Vital Signs</p> <p>Unit 8 : Rehabilitation and Asking Questions</p> <p>Unit 9 : Operation</p> <p>Unit 10 : Positioning the Patient and Giving Instructions</p> <p>Unit 11 : Medication</p> <p>Unit 12 : Discharge and Goodbye</p> <p>Unit 13 : Negotiation Management</p> <p>Unit 14 : Consultations (Pregnancy)</p> <p>Unit 15 : Consultation (Cancer)</p> <p>英字新聞のヘッドラインを毎週短時間で導入する。</p> <p>本試験</p>
3. 教科書	Insight into Britain (金星堂) Everyday English for Nursing on DVD (成美堂)		
4. 参考書	The Guardian, BBC, The Washington Post, The Japan Times等		
5. 成績評価方法	平常点、2回の試験と小テストの総合点により評価します。		
6. 先輩学生からのメッセージ	小テスト、予習を頑張りましょう。音読に力を入れて勉強しましょう。		



授業科目	英語会話Ⅱ		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
Welcome to Central Hospital English. In this class we will cover conversational English skills.			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2		1. Introduction. Nursing schedule.
2	2		2. Unit 1: Meeting patients.
3	2		3. Unit 2: Describing symptoms.
4	2		4. Unit 3: The patient ward.
5	2		5. Unit 3: Nursing duties.
6	2		6. Unit 4: Food and measurements.
7	2		7. Unit 4: Assisting a patient.
8	2		8. <b>Midterm Test (30%)</b>
9	2		9. Unit 5: The body and movement.
10	2		10. Unit 6: Medication.
11	2		11. Unit 6: Assisting patients with medication.
12	2		12. Unit 7: The hospital team.
13	2		13. Unit 7: Safety instructions.
14	2		14. Unit 8: Recovery and assessing the elderly.
15	2		15. <b>Final Exam (40%)</b>
3. 教科書	English for Nursing : Level 1 Coursebook with CD-ROM Pearson Education ESL		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	30% Classwork, Reports, and Participation 30% Midterm Test 40% Final Test		
6. 講師からのメッセージ	Let's enjoy practicing English together! Please be active in class. It will be fun.		
7. 先輩学生からのメッセージ	医療に関連した内容になっているので、症状や医療器具などの英単語や日常的に使えるフレーズなどしっかり学べます。臨床の場で活かせるように頑張ってください		

授業科目	保健体育		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. いろいろな種目の基本的な技術、知識などを学習し、自らゲームが行えるようになるとともに、審判法についても学習する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目・内容	
1 ～ 15		バドミントン	ハイクリアー、ドロップショット、サーブなどの基本的技術の練習後、ゲームの進め方、審判法について学習する。 また、授業の後半ではゲームを行う。
		バレーボール	基本的な技術の練習をした後、ゲームを行う。
		バスケットボール	基本的な技術の練習をした後、ゲームを行う。
		認定試験 (実技試験)	
3. 教科書		なし	
4. 参考書			
5. 成績評価方法		実技試験 学習意欲を重視します。	
6. 講師からのメッセージ		実技です。 体育館シューズと運動できる服装（ジャージ等）を準備してください。	
7. 先輩学生からのメッセージ		保健体育は1年生の前期しかないので、元気よく体を動かしましょう。クラスメイトとの交流も深まります。	

授業科目	コミュニケーション論		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	1学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. コミュニケーションの基礎、体験学習を通して自分自身のあり方や特徴に気づき、他者への情報伝達に必要なコミュニケーション能力を養う。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2		授業の進め方 コミュニケーションを学ぶグループワーク・トレーニング (関わるスキル)
2	2		コミュニケーションの基礎
3	2		言語コミュニケーション (話す・聞く)
4	2		非言語コミュニケーション (みる・感じる)
5	2		相互関係のコミュニケーション (ひらく)
6	2		ホスピタリティ・トレーニング (気づきの学習)
7	2		ホスピタリティ・トレーニング (気づきの学習)
8	1		認定試験
3. 教科書	適宜資料を配布する。		
4. 参考書	看護コミュニケーション：基礎から学ぶスキルとトレーニング 医学書院 新グループワーク・トレーニング 遊戯社		
5. 成績評価方法	認定試験、レポート、出席状況、授業態度により総合的に評価します。		
6. 講師からのメッセージ	演習では、積極的な参加を望みます。		
7. 先輩学生からのメッセージ	講義はグループワーク中心です。積極的に取り組みましょう。集中して講義を聞き、授業プリントの内容を理解しておくようにしましょう。		

授業科目	レクリエーション		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. レクリエーション活動の社会的意義や援助者としての役割を理解し、より円滑なコミュニケーションスキルの向上を図る。また実践援助能力を養う。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2		授業の意義、目的、方法及び授業についての諸注意〔教室〕 レクリエーションの基本的理解
2	2		コミュニケーションワーク①
3	2		対象に合わせたレクリエーションワーク 様々な場面での援助（介護予防教室での実践例）
4	2		対象に合わせたレクリエーションワーク 様々な場面での援助（老人保健施設での実践例）
5	2		コミュニケーションワーク②
6	2		良好な集団づくりの方法（アイスブレイキング）
7	2		自主的、主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法
8	2		「素材・アクティビティ」の選択、相互作用の活用 障がい者と健常者が一緒に楽しめるレクリエーション
9	2		対象に合わせたレクリエーションワーク 認知症の方と楽しむレクリエーション活動
10	2		身体運動とレクリエーション(ニュースポーツの体験)
11	2		身体運動とレクリエーション(ニュースポーツの体験)
12	2		レクリエーション財の活動分析と考え方〔教室〕
13	2		総合演習
14	2		総合演習
15	2		まとめ 認定試験〔教室〕
3. 教科書	講義、演習の際に適宜資料を配布する。		
4. 参考書	レクリエーション支援の基礎（楽しさ・心地よさを活かす理論と技術）及びレクリエーション総論等のテキストを活用。		
5. 成績評価方法	認定試験、出席状況、授業態度により総合的に評価します。		
6. 講師からのメッセージ	演習が中心であり積極的な参加を望みます。一部講義も取り入れます。		
7. 先輩学生からのメッセージ	子どもから高齢者、障がい者も対象としたレクリエーションの方法や、工夫の仕方について学ぶことができます。実習先で実践することがあるので、積極的に参加しましょう。		

授業科目	教養		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	1学年 全期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 看護を学ぶ学生として、身につけ、大切にしたい事柄を学び、周囲を気遣うことができる品格を磨く。</p> <p>2. 様々な価値や自己を知り、物事を見る・考える視点を豊かにする。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	接遇とマナー	<p>1. あいさつ・言葉遣い・所作</p> <p>2. 初対面の人への対応</p>
2 3	4	人権	<p>1. インターネット・SNSにおける人権侵害</p> <p>2. ハンセン病患者の人権問題と支援</p>
4	2	異文化への理解	<p>1. アジア諸国（中国）の文化 －行事、食べ物、芸能、医療・出産－</p>
5	2	こころの健康	<p>1. こころの健康とカウンセリング</p>
6	2	社会貢献活動	<p>1. 社会貢献活動の理念・意義</p> <p>2. 社会貢献活動</p>
7	2	臓器移植と移植医療	<p>1. 臓器移植と移植医療</p> <p>2. 臓器バンクの機能と役割</p>
8	1	人間と環境	<p>1. 人間と環境</p>
3. 教科書	授業で使用する資料等はその都度配布		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	出席およびレポート、社会貢献活動（1日）と活動レポート		
6. 講師からのメッセージ	教養とは、得た知識を自分なりに咀嚼して、それを活かした日々を過ごすことです。看護学生として身につけておきたい事柄を学び、自分磨きをしていきましょう。		
7. 先輩学生からのメッセージ	礼儀やマナーなど、これから人として必要な事を学ぶのでしっかり聞きましょう。		